

令和2年度第1回まちづくり懇談会

「アースドクターふなばし」

1. 日 時：令和2年11月9日（月） 午後1時30分～午後2時30分
 2. 場 所：市役所10階 議会中会議室
 3. 【議題】未来へつなぐ恵み豊かな環境をめざして
 - ①地球温暖化防止に関する、更なる啓発活動を継続実施します
 - ②子ども（小学生・中学生）の未来につなぐ持続可能な社会に向けて行動します
 - ③船橋市の脱炭素社会に向けてのシステム作りに寄与します
-

●団体

本日はお忙しい中、このような機会を設けていただきましてありがとうございます。よろしくお願いいたします。

○市長

よろしくお願いいたします。

●団体

我々が目指しているのは、ストップ地球温暖化です。県の地球温暖化防止活動推進員が中心になり30名程度で活動しています。発足した2007年から13年経ちました。主に小中学校、高校に出前講座を行い、環境フェア等の各種イベントに参加しています。年間約80件前後活動していましたが、今年はこのコロナ禍でほとんど活動ができませんでした。オンラインでも活動していますが、生でやるのと勝手が違いますが頑張っていきたいと思います。

市長との懇談会を3月に行いたいと要望しました。パリ協定で日本は2013年を基準にして2030年に26%排出ガスを削減するという目標を掲げました。その実行開始の年が2020年で、そのタイミングで3月にやりたかったのです。

コロナウイルスの影響で開催が遅れたわけですが、この7、8カ月で国際地球環境が大きく変わってきています。

先日首相も2050年に二酸化炭素排出をゼロにするという宣言をしたわけですが、これは船橋市にとっても非常に重要だと思います。環境審議会で検討を進めていると思いますが、新しい船橋市の環境基本計画、地球温暖化対策実行計画が来年の4月にスタートしようとしていると思います。

同じく千葉県環境基本計画というのが2019年にリニューアルされました。

「未来へつなぐ恵み豊かな環境をめざして」というテーマで3点提案を出していますので、具体的にお話しします。

●団体

1つ目の提案は「地球温暖化防止に関する更なる啓発活動を継続実施します」という提案です。この中で更に具体的に3つ提案をしています。1つ目は学校での総合学習での授業の時間を増やしたいことです。2つ目は広報ふなばしで環境問題について取り入れてもらいたいことです。3つ目は、ふなばし市民大で講座やメニューを増やしていただきたいことです。

我々の授業の特徴は、体験を交えて授業を行っていることです。来年度から文科省の新学習指導要領に、持続可能な社会に向けた創り手を育てる教育というのが盛り込まれています。私達もそれを前提に新しいプログラムを考えて、総合学習の時間に実施していければと思います。

中学校での出前授業では、自分で考え自分で答えを見つけることが大切だと思います。中学校での総合学習や、特別活動の時間に対面で授業を行って、自転車発電や太陽光発電の体験を通して、二酸化炭素排出ゼロを考えさせることは大変重要だと思います。そのために中学校での出前授業を拡大させていきたいと思っています。

実際に中学校の先生に話をしましたが、どうしても総合学習の時間が少なくなってしまうとのことでした。何とか地球環境への取り組みをやっていただけるとありがたいです。

○市長

ありがとうございました。来年度から新たにスタートする市の計画を今策定している途中です。その中で環境部の報告では、市民の方の二酸化炭素削減に対する関心は非常に高いですが、意外なことに小中学生の子供達の関心の度合いは市民の関心レベルよりも一段低いというデータがあります。

毎年こども未来会議室という事業を行っていて、各学校で市長になったら何をしたいかというテーマで提案を上げてもらいます。そのときに、福祉と環境のことは必ず出てきます。私は、子供達は何らかの形で知る機会を持てるかどうかで大きく意識が変わってしまうと思います。

新しい計画の中でも、ゼロカーボンを目指していきますと明記をしていく方向性でやっていて、ゼロカーボンの宣言をしている自治体が非常に増えてきていることは承知をしています。

その中で、小中学校の教育の場でこういったことの取り組みについて先生方と話をさせていただいて、先生方に考えていただければと思います。

小中学校の子供達はやることが非常に増えていて、総合学習に租税教育などのいろいろな要望があり、先生方は四苦八苦しています。ただ、長期的に見れば、小中学生は10年経てば社会の一員として活動していくことになるので、しっかりやっていきたいと思います。

先ほどの御提案の中で、小中学生に自分達で何ができるかを考えてもらうのが大事という話でしたが、中学生ぐらいになると、親と一緒に話をするのは苦手な年代かもしれませんが、親と一緒に考えてもらえるといいと思います。

●団体

最近、リアルな場所で出前講座などができなかったので、Zoomを使い5月末からオンライン講座を始めました。親子で参加出来るというオンライン講座の良さもあり、今後も展開していきたいと思います。

○市長

オンラインのよさは今まで参加しにくかった人が参加できるようになったことが非常に大きい気がします。ほかの行事も、オンラインになったから初めて

参加したという人もいました。市としてもオンラインのやり方にはいろいろな可能性があると思うので、勉強したいと思います。

●団体

千葉県では千葉県地球温暖化防止活動推進センターがあって、推進員が330名ぐらいいます。船橋はそのうち37名で千葉県では一番多いです。その中で年間どのくらい講座を行っているかというところ、令和元年度の実績として157回行っています。千葉県全体で地球温暖化に関する講座を行い、人数的には8,000人強が受講しています。

157件中、76件は小学校です。ところが、中学校はたったの8件です。中学生は参加しにくい環境にあります。中学校への展開をどのようにするかが課題です。

○市長

中学生たちに自由に集まってくれと言うのは難しいと思います。子供たちは部活などいろいろなものがあり余裕がないので、自由参加にするより学校として何かやってもらうとか、必然的に参加する環境をつくってあげないといけないかもかもしれません。最初のきっかけがあり、その先で意識が高まれば、自由参加でもいいかもかもしれません。

●団体

提案の中に広報ふなばしで環境の話を載せてほしいと言いましたが、今SDGsという言葉がすごく浸透してきていますので、コラムのように広報ふなばしに載せていただいたらもっと浸透していくと思います。

それから、ふなばし市民大学校でのメニューについてですが、私達は2、3年前までは市民大学校の共通講座で地球温暖化について話をさせていたのですが、ここ2、3年、そういうオファーがない状況となっています。新しく学科をつくるというのは難しいかもしれませんが、教養学科の中の1つのメニューとして環境の項目について入れていただき、社会全体で温暖化に関心を持ってもらいたいという提案です。

○市長

環境新聞を出していますが、いろんな人に目にしてもらえるのは広報が大きい存在だと思います。今後環境基本計画の実施に当たるところに、複数回コラムでやっていく必要があるのかなと思います。

市民大学は、来年度に向けて授業のこまのつくり方や楽しく興味を持ってもらうためにどうしたらいいか話をしてみたいと思います。

●団体

2つ目の提案は、「子供特に小学生や中学生の未来につなぐ持続可能な社会に向けて行動します」という提案です。子供や親子連れが環境について学ぶ際に環境学習館や教育センターがありますが、交通の便が悪いところでもありますので、できれば西武跡地のような便利な場所に親子ですぐ行けるような施設があればと思いました。

○市長

親子で参加できる場所が必要なのはよく分かります。まず、西武跡地は民間が土地を所有していて、公共施設を入れるかどうか協議してきましたがスペースや金額の問題で断念しました。

姉妹都市にアメリカのヘイワード市がありますが、環境が船橋市に似ています。サンフランシスコ湾に面していて湿地があり、その奥に都市部がありますが、ヘイワード市のフィールドワークをする場所は不便な湿地の中です。

環境学習館の一番大きなメリットは、フィールドワークが浜辺でできるということだと思います。

ヘイワード市の職員とも話しをしたのですが、「親子で来て1日過ごして、フィールドワークをすると彼らはその体験を忘れないでいてくれる」と言っていました。便利なところに施設があることよりも、不便なところでも実体験をさせる場のほうが大事と教えられました。

三番瀬の環境学習館は交通の便が悪いですが、環境学習館ではおもしろいプログラムをたくさんやっています。例えば公民館の講座を入り口として興味を

もってもらい、環境学習館に行き実体験をしてもらうというのがいいと思います。

●団体

リアルだけでなくオンラインという方法をやり始めたのですが、結構弊害があります。私たちは公民館の主催事業に講師として行って講義をしたり、小学校からの依頼で行って講義をしたりしています。オンラインでやろうとすると、セキュリティの問題や、ネットワークの問題があり、公民館とか図書館ではできないので、どうかならないかと思います。

今後もリアルとオンラインの両方での啓発活動が続くと思います。市のホームページを見ると、最近は動画とかが入っていると思いますが、現時点は一方ですので、双方向でできるような仕組みがあればと思います。

○市長

これは御指摘のとおりだと思います。確かに公共施設を使うとなると、情報セキュリティポリシーというのがあって、安全策をとらなければいけないことになっていますが、市と共催の場合、セキュリティを兼ね備えて行うにはどうしたらいいかは協議させてください。

私もリアルとオンラインの2つの手法というのは、これからずっとなくならないと思うし、さっき言ったように多くの方に参加してもらうにはオンラインは非常にいい手法なので、機器の構築とかを考えさせていただければと思います。

●団体

2つ目の提案の中でもう1点お話しさせていただきたいことは図書館のことです。図書館ともやり取りをしまして、昨年度は4館合同事業として講演依頼を受けました。

図書館のいいところは講義の後に学習できることです。

船橋の図書館の検索機能を使ってSDGsというキーワードで検索すると、88件ひっかかります。88件のうち、ほとんどが2、3年、特に半分ぐらい

は2020年に購入した本です。児童向けの本で分かりやすいものもあり、私達も図書館と連携してこれから活動したいと思います。

○市長

ありがとうございます。

指定管理も最初の年はまごついたのですが、2年目からは指定管理の館長、スタッフの皆さんも非常に頑張ってくれて、船橋を非常に意識した形の運営になってきています。アースドクターの皆さんも連携していただくと、指定管理の人達のスキルアップにもなるので、よろしくお願いします。

●団体

最後の提案は「船橋市の脱炭素社会に向けてのシステム作りに寄与します」という提案です。2050年に二酸化炭素の排出量をゼロにすれば温暖化を防ぐことが可能だという報告が出ました。それ以来、世界の潮流は二酸化炭素排出ゼロに向かっています。現時点で120カ国がゼロ宣言をしており、菅首相もゼロ宣言をされて、ようやく日本も世界の動きについてきたという状況だと思います。

今や169の自治体が二酸化炭素排出ゼロ宣言を行い、半年の時点で5倍以上に増えています。千葉県では6月に山武市が表明した後、野田市と我孫子市と浦安市と四街道市が表明しております。船橋は千葉県で注目されている市ですので、宣言してはどうかという提案です。

国の地球温暖化対策計画の改定作業が始まっていて、ゼロカーボンについても織り込まれるはずですが。

○市長

ゼロカーボンについては、市の計画の中でも明記をしています。宣言は今でもできてしましますが、市民の人達や市内の事業所や実際にエネルギーをたくさん使っている人達の理解がないと実効性がないので、担当と話をしています。

それぞれ宣言したところも具体策が非常に弱く、船橋で宣言をする以上は、具体策を盛り込みたいと思います。

だから、私どもが宣言を明確にする際には、もうちょっと骨格をしっかりとしたうえで、お示しした方がいいと思います。

●団体

慎重な意見だと思えますが、アドバルーンというのは非常に重要だと思えます。東京都が上げたので、東京都に存在している企業体も必死になってそれに向かっています。アドバルーンを上げないことにはなかなか物事というのは動かないですし、我々の活動としてもそうしていただいたほうが活動しやすいです。

○市長

これはいろんな考え方があると思えます。私は市だけでやるゼロカーボン宣言より、事業者の皆さんと一緒にやるような打ち出し方をしていかないと、市民の人達にインパクトがないと思えます。検討して対応していきます。

●団体

よろしくをお願いします。

環境審議会で来年の4月以降の環境基本計画と地球温暖化対策実行計画を検討しているかと思えますが、あの内容であれば十分宣言していいと思えます。

ただ、アドバルーンだけ上げればいいのかにはいかないし、ゼロカーボンも絵に描いた餅にならないように、そこを裏付けすることが重要だと思えます。

○市長

またいろいろ勉強させていただきます。

●団体

今日はお忙しい中ありがとうございました。私どもも微力ではありますがこれからもいろいろと頑張っていきたいと思えますので、よろしくをお願いします。

○市長

環境大臣表彰を受けられて、いろんな場所で活動していただいている、ほんとうに感謝申し上げます。

環境については、私どもは海洋プラスチックの問題で日大生産工学部と協定を結び、三番瀬の海洋プラスチックや魚の中の海洋プラスチックについての取り組みも始めています。

全く話が違いますが、コロナウイルスの累計の陽性者数は非常に多くて、千葉県では千葉市に次いで多い状況になっています。船橋は保健所を独自に持っており、また町中やクリニックのお医者さんが懸念されるケースについては、極力PCR検査を実施しようということで、当初からかなりの件数の検査を実施しています。

そうした中で、クラスターが船橋市で起こっています。クラスターの調査に保健所が調査に入ってはっきりしたのは、職場の安全管理をしっかりやっているとところが多いですが、盲点は休憩所です。仕事で休憩するときの場所が意外に緩くなっていて、マスクを外して近距離で話したりするので、1人陽性者が入ると、どんどん広まっていくようなので、いろんな事業所に通知を行い配慮してほしいということをやっています。

ただ、コロナはなんとか収まってほしいと思います。来年は明るいい年でスタートしたいと思いますので、これからもよろしく願いいたします。本当にありがとうございます。

●団体

ありがとうございました。